

弓道ながの

第45号

発行：長野県弓道連盟
会長 土川俊市
〒399-6303
塩尻市奈良井611
TEL0264(34)3063
編集：県弓連
印刷：成進社

巻頭言

弓矢を持つこと審固なり

長野県弓道連盟副会長 外園公毅



近くの神社の奉納射会の折、直会でお神酒を飲みながら、弓道談義に花が咲き、

礼記射義にある「審固」とはどういうことかと話題になった。酒を飲んでもかくの如く、弓のことが頭から離れない駒ヶ根の弓士だが、このときは私を含め、即答は勿論、説得させる回答ができる者がいなかった。急に酔いも醒め(ウソです)、調べてみましょうということになっていった。今回この紙面をお借りする機会を得たので、私の考えというより、書物や資料を読み、感じ入ったところを述べてみたい。

我が家の辞書には「審固」という字

は載っていないかった。それぞれの漢字の意味は、「審」は、つまびらかといい、詳しく知る、慎重にしっかりと行うという意。「固」は、かたく、しっかりと強いという意味である。つまり弓を引くには、慎重にしっかりと弓を握り、的をしっかりと見るということである。それでは「進退周還必ず礼に中り」とのつながりをどのように解釈するかである。いろいろ調べた中に、約二十年前まで飯田女子高、伊那西高で教鞭を執られた高島成中先生の解釈の文章が目にとまった。高島先生は、弓道部の顧問としてインターハイ、国体など全国大会で何回も優勝、上位入賞に導かれ、現在は郷里富山県氷見市に帰られ家業を継がれながら、地元での弓道振興に活躍されておられる。平成元年、生徒用

に作成された「弓道教室テキスト」の中に、その部分を分かり易く解説されている。的を射ているかどうかは、弓士それぞれいろいろの解釈はあるうが、概略を記すと『弓を引く(的を狙う)ということ、ただ中ればいいというそれだけの問題ではない。なり振りかまわず、中ればいいんだというような下品な弓は、我々の理想ではない。』

「進退周還必ず礼に中り」を第一義と考え、当然のことながら、内面的、精神的に安正で姿勢も素直で無理がない。こういう状態で初めて弓を持つて「審固」ということが可能になる」と書かれている。そして更に「いつでも平常心での観ることができ、手の内が基本通りにできるようになって、ようやく的中ということの問題にしていいだろう。それ以前の人は、まだ、中りなど、とやかく言うべきでない」

高校生に対して、弓道の根元的な理念



を説かれ、それを守り、なおかつ、すばらしい結果を残されたことに驚きを禁じ得ない。

我が道場の弓道教室開講式での挨拶でいつも「弓道は礼に始まり礼に終わる」ということを話すが、「礼」ということをあまり堅苦しく考えないで、他の人への思いやり、気遣いとして捉え、まずは道場に来たとき、帰るとき挨拶だけはしっかりとさせていただきたいと話す。弓をとる以前の姿勢として申し上げている。

長野運動公園弓道場のトイレの扉に「履物は出船形に揃えて下さい」と書いてある。我が道場の矢揚げの所にも「矢はていねいに扱い、しっかりと拭く」と張り紙がある。またそれなりの手立てもしてある。これは、自分のためだけでなく、次に使う人のための思いやり、気遣いである。矢尻に土のついた矢をもらうのは嫌なものである。道場を使用した後の片付け、清掃も、後から使う人が嫌な思いをしないための気遣いである。こういうことが自然にできて「弓矢を持つこと審固なり」といえるのではなからうか。

私?、「未だ審固たりえず」
自戒と自責の想いを心に刻んで、残された弓道人生を歩みたい。

退任のあいさつ

射即人生

前長野県弓道連盟副会長 高橋 康人



このたび二期四年務めさせていただきます副会長を退任させていただきますこととなりました。

この間土川会長先生を始めとされる関係各位の絶大なるご支援を賜りながらその任を全うさせていただきましたことを、この場をお借りしまして心より御礼申し上げます。

私の担当はジュニア部でしたので、県下の中学生や高校生の若き弓士たちとの出会いが何よりも楽しみであり、その育成に少しでも貢献することがその任務でありましたが、もとより浅学非才の身であり、四年間を振り返ってみて十分な貢献もできなかったことが悔やまれますが、各種大会の運営を通じて垣間見る若者達の弓道にかける直向きな姿勢は、本県弓界の未来を創造するものであると常に認識し、私自身様々な思いを彼らに伝えることはできただけではないかと思っております。

特に思い出深いのは平成二十四年八月松本開催の全国高等学校総合体育大会弓道競技会でした。県連関係役員の方、先生方、地元松本弓道会の皆様方始め、地元高校生、県下各高校の先生方など、実に多くの皆様方のご支援のもとで滞りなく大会を開催することができました。

たことを改めて御礼申し上げます。全国から集った若者達の気迫のこもった射技は、県下の若者達にも峻烈な刺激となり、指導に当たる教職員にとっても大きな財産となったと思います。改めて「射即人生」を実感した大会でした。

さて今後の中学生高校生弓士の育成という観点では、施設の充実と指導者育成という二つの重要な観点があるわけですが、関係各位の変わらぬご支援を切にお願い申し上げます。退任のご挨拶に代えさせていただきますとともに、長野県弓道連盟の益々のご発展をご祈念申し上げます。

新任のあいさつ

ご挨拶

長野県弓道連盟副会長 金原 正



この度、高橋康人先生の後を受け、副会長の重責を仰せつかることとなりました。自分自身

の弓道修練の面におきましても、学校弓道の指導という面におきましても、大変未熟であり何の実績もない私ですが、このような重責を担わせて頂くことは恐れ多いことであり恐縮の至りでございますが、土川会長先生を始めとする会員の皆様方のご指導を賜りながら、一つ一つ任を務めさせていただきますと存じます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、平素より県内中高生や教職員に對しまして多大なるご支援をいただいておりますことに、改めまして御礼申し上げます。平成二十四年度より中学校では武道が必修科目となり、弓道も武道科目の一つとして選択することが可能となりましたが、県内の多くの中学校では施設や指導者の関係から採

択する学校は多くなく、部活動としてもなかなか成立しにくい実態があります。一方社会体育の分野で、会員の皆様のご努力により弓道に親しむ中学生が増えていることも事実です。今後、学校関係者のご協力をいただきながら、裾野の一層の拡大を図ることが課題だと考えております。また、高校に關しましては、昨年、高校総体開催という大事業を成就していただきましたこと、県下の高校弓道も新しい段階に一步踏み出すことができたのではないかと存じます。今後とも、中学生・高校生の大会や講習会・審査、教職員講習会等、様々な面でお世話になります。旧来に増すご支援とご指導を賜りますようお願いを申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



退任のあいさつ

ジュニア部長退任にあたり

前ジュニア部長 山田 雅 亮



平成二十五年度を迎えるにあたり、この度、ジュニア部長を退任させていただきます。このことになり、

ました。着任以来、長野県弓道連盟の役員諸先生方及び会員の皆様には、一方ならぬご厚情を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。

在任中は、県中学生大会と高校選抜県予選会の実施をさせていただきました。中学生大会は、毎年、四〇名前後の中学生弓士の参加を得、塩尻市弓道場をお借りして実施いたしました。県連盟及び開催地支部の先生方にご支援をいただき、ジュニア部員や、時には、高体連の先生方にもご協力いただいで運営いたしました。中学校や各地体協に所属して稽古に励んだ結果、県大会を突破し、全国中学生大会に進出して見事に入賞を果たした選手が何人も出たことは、大会を運営させていただいた大きな喜びでもありました。

新任のあいさつ

次代を担う若者のために

ジュニア部長 神津 明 男



このたび、ジュニア部長を仰せつかりました神津と申します。はたしてこの大任が自分に務まるのかと不安な気持ちでいっぱいです。土川俊市会長、山田雅亮前部長をはじめ多くの先輩方に教えを請い、県連のみなさまにご協力をいただきながら、任務を遂行していきたいと思ひます。

昨年度は全国高校総体の弓道競技会が松本市で行われ、私も一役員として参加させていただきました。大会は準備をした事務局の先生方、県連のみなさま、高校の先生方、補助員の高校生たちの協力で無事に終了することができました。特に中信地区のほとんどの高校弓道部員が補助員となり、とても頑張ってくれました。猛暑の中、準備を含めて連続八日間にわたり献身的に働いてくれて、たいへんありがたかったです。彼らがこの期間に得たものは

きつと本人の人生や、弓道に生きると思ひます。このような高校生、そして中学生が、これから晴れの舞台を目指し、切磋琢磨するのを応援し、そのための環境を整えていくのが私たちに課せられた使命だと思ひついでいます。多くの弓友のみなさまと同様に、私も弓道の魅力に惹かれ、時間があれば弓道場に通っている者の一人です。弓道は技術的にも精神的にも深いものがあり、なかなか奥へ進むことができません。しかし、それを探し、つかもうとすること自体を楽しんでいる実感があります。多くのジュニア層にも弓道の面白さを伝えていけたらと思ひます。



最後に、平成二十四年度全国高校総体弓道大会の開催におきましては、長野県弓連の前会長山川先生や現会長土川先生及び役員の方、松本支部を始めとする会員の皆様のご支援を賜り、大会を成功裏に終えることができました。結びにあたり、併せて御礼申し上げます。有難うございました。

平成二十五年度事業計画



総務部長
丸山 泰利

平成二十四年度は、各支部の支部長様始め会員の皆様には多大なご支援とご協力をいただき誠に有難うございました。

また、土川会長始め県弓連役員の方にも色々ご指導・ご助言を賜り厚く御礼申し上げます。

お陰様で総務部主管の県弓連行事は、全て計画どおり遂行することが出来ました。これもひとえに関係皆様方のお陰と深く感謝し、重ねて厚く御礼申し上げます。

【評議員会報告】

三月三日、長野県弓道連盟平成二十五年度評議員会が松本市燦祥館で開催され、次に掲げる議題について審議が行われ承認されました。内容については「県弓連事業計画書」をご覧ください。

- 一、平成二十四年度事業実施報告
- 二、平成二十四年度決算報告
- 三、会計監査報告
- 四、平成二十五年度事業実施計画

(案)

五、平成二十五年度予算(案)
引続き役員改選に移り、次のように新役員が選出されました。全役員の名簿は「県弓連事業計画書」をご覧ください。

- 名誉会長 山川茂樹(留任)
- 顧問 宮澤 廣(留任)
- 〃 大久保秀雄(留任)
- 〃 小林義行(留任)
- 会長 土川俊市(留任)
- 副会長 外蘭公毅(指導部担当・留任)
- 〃 平野英孝(強化部担当・留任)
- 〃 百瀬 正(審査部担当・留任)
- 〃 重田 功(競技部担当・留任)
- 〃 金原 正(ジュニア部担当・新任)
- 理事長 杉田 博(総務広報部担当・留任)
- 監事 山口安彦(留任)
- 〃 植松 守(留任)

【新規事業・総務部】

- 一、審査委員研修会

平成二十五年度から新たに県弓連主催の地方審査委員全員を対象とした研修会を実施することにいたしました。

この研修会は、審査にあたっての留意点および審査判定基準の確認などを行ない、審査委員の判定基準の統一を図ることを目的としています。

【審査会の特記事項】

- 一、北信越臨時中央審査
平成二十五年度は長野県が当番県になり九月に松本市弓道場で開催されました。
- 二、北信越連合審査
平成二十五年度は長野県が当番県のため六月に飯山市弓道場で、十月には県営飯田弓道場で開催されます。

多くの会員の皆様が受審されます様ご案内申し上げます。

終わりに、平成二十五年度も総務部員一丸となって取り組む所存でございますので、県弓連役員先生方のご指導ならびに会員皆様方のご支援とご協力を引続きよろしくお願い申し上げます。



指導部長
宮坂 博之

会員の皆様にご迷惑をお掛けしながら部員一同力を合わせ、二年間を頑張っております。

指導部で計画された行事を一つずつ終わりにしていくだけで精一杯だった二年間で、駆け足で過ぎて来た日々の中で、それでも少しずつ皆様の近くに行き声を聴けるようになった二年間でした。無我夢中で講習会を運営しながら、ただ一方的な押し付けだけ

の講習会ではなく、受講生の声を聴き、共に弓を学び語り少しでも力になれる講習会をと、会長はじめ役員と共に話し合い、部員一同頑張つて歩んでまいりました。

県内を広く広くと、会員皆様の顔を見ながら声を聴いてまいりました二年間ですが、新しい年度は「より深い講習を」を念頭に講習会を計画させていただきます。

本年度もすでに春季講習会が行われておりますが……。

今まで春の審査、秋の審査の直前での春季・秋季の講習会は、「春季」のみとしシーズンに向けての強化を行います。また、女子称号者講習会はその目的の達成に伴い「女子講習会」として新たにスタートいたします。昨年新設いたしました中級者講習会は、信越講習会の動きに合わせる様にし、本年度は南信地区での開催にしたいと思えます。また夏のヤングセミナーもお盆を外し秋にすることで参加しやすくなる様に思います。本年度は東信地区での開催ですので、野辺山「洗心館弓道場」をお借りして、近的・遠的への射技中心の講習とし、射会も考えております。県内の教士と錬士研修会において、県外からの講師を考えております。教士研修会はすでに県外から講師をお招きしておりますが、錬士研修会につ

いても県外から講師をお招きし、更に
より良いものとしていきたいと考えて
います。期待してください。

伝達講習会上級者・中級者・教職員
は、今まで通り、若い講師にお願いし
たいと思います。そして全日本選手権
に向けての選手強化も行います。近的
は競技部からの予選選抜メンバーに加
え、少し先を見て次の世代を育てるべ
く若い世代を加え「次世代への強化研
修会」を行ってまいります。遠的につ
いても、今まで手薄になっていました
が、今年から代表選手と協力して行っ
てまいります。

指導部として感じてきた地域の温度
差への取り組みとして、「県内派遣講
師講習会」にも、力を注ぎ副読本の整
備も進めてまいります。昨年も言いま
したが、色んな人の色んな弓があつて
いいと思います。講習会により長野県
の弓を平準化しようと言うものではあ
りません。公益法人としての正しい弓
道を目指していける様、また、地域の
温度差を無くすべく、努力してまいり
たいと思います。

二十五年度も皆様のお役にたてます
様、部員一同歩いてまいります。支
部長の皆様始め講習会のお手伝いを頂
く方々、どうぞお力添えに加え、ご指
導頂けます様宜しくお願い申し上げます。



競技部長
奥山 誠治

今年度平成二十五年競技部事業計画
は、

一、四月七日(日)の県勤労者弓道
選手権大会兼第60回全日本勤労者弓道
選手権大会長野県予選会(下諏訪町宮
弓道場)を皮切りにスタートします。
この「弓道ながの」が発行される頃
は終了していることでしょうか。

二、四月二十八日(日)第64回男子、
第46回女子、全日本弓道選手権大会長
野県予選会(松本市弓道場)

従来この大会で選出された選手が強
化選手となり指導部に引き継いでい
ましたが、これについては変更ありま
せんが、北信越錬成大会の成績を参考
に会長が決定する事に変更になりまし
た。

三、六月十六日(日)県弓道近的選
手権大会(上田城跡公園弓道場)

四、七月十四日(日)県弓道遠的選
手権大会兼第64回全日本遠的選手権大
会長野県予選会(長野運動公園弓道場)

五、九月一日(日)長野県支部對抗競
技会並びに団体及び全日本弓道選手権
大会出場選手壮行会(県営飯田弓道場)
全県会員の皆さんが一堂に会する大
会であり、競技部としても最大の行事

です。遠的・近的両競技があり、運営
員も大勢で行わなければなりません。
混乱のない運営をしたいと思えます。
六、九月二十八日(土)信州ねんり
んピック交流大会(茅野市宮弓道場)

昨年度より全国大会予選会と分けて
実施しており、当日限りの大会となり
ましたが、その分気心の知れた人々が
参加し、和気藹々と楽しい射会となっ
ています。内心我こそはと頑張ってい
る人もいるのではないのでしょうか?射
会に接してその様に見受けられます。

以上六事業の実施予定であります
が、例年会場が固定化されている所も
あり、持ち回りでと言う声も聞かれま
す。今年度は無理ですが、来年度に向
けて希望支部、希望道場がありましたら
ら前向きに検討したいと思います。ど
うか御意見をお寄せ下さい。お待ちし
ています。そして大会に参加をして会
を盛り上げて下さい。事業計画書を参
考に申し込み期日に遅れない様にお
願い致します。



審査部長
押金 孝

全県の関係各位のご指導とご協力を
頂き、どうか審査部長一期二年を務
めさせて頂きました。

今期も審査部長の委嘱をうけ、身の
引き締まる思いです。

平成二十五年年度の、審査部事業につ
いて、平成二十四年度と異なる点をあ
げますと

○審査申込書について

今年度より、旧用紙の審査申込書
は受理出来ません。新しい書式の審
査申込書は、全日本弓道連盟ホーム
ページよりダウンロードし、印刷(ま
たは、そのコピー)をご使用ください。
記入例は、長野県弓道連盟ホーム
ページを参照願います。

○参四段審査会について

参四段審査を、受審者の利便性等を
考慮し今年度は夏季も加え参四段審
査会を年三回実施します。

○県内審査長袖の着用について

防寒対策として、弓道衣の下に長袖
を着用する場合は、華美になる事
のない様、今後は「白色が望ましい。」
とします。

○立射申請手続きについて

立射で受審する際は、申込書の(受
審者連絡欄)に立射で受審したい
旨を朱書きし、立射初回受審時の
み、医療機関等の診断書(またはそ
の写し)、身障者手帳の写し等を添
付して下さい。次回からは添付不要
です。申し込み後から審査当日の間
に、諸事情により立射の申請をする

場合は、審査委員長または、代理者(参四段審査会は会長、三段以下審査会は主管支部地区副会長)に予め連絡をし承認を得ると共に、当日受付でその旨を申告する事とします。以前より立射で申請している方は診断書または身障者手帳の写し等の添付はいりません。

二十五年度は、昨年を上回る多くの方が審査にチャレンジされ、昇段の喜びや、審査会を通じて貴重な体験が出来ます様、審査部一同事業を実施して行こうと思っておりますが、審査会は審査部だけでできる事業ではなく、受審者がいて、審査会に関わる関係各位のご協力が不可欠です。

最後になりましたが、昨年度各地区で行われた審査会に関わって頂きました、関係各位に御礼を申し上げます。二十五年度も、昨年同様のご指導ご協力をお願い致します。



強化部長
新津 一夫

土川会長の二期目に向けて、現体制で二期目に臨もうとしている。

強化部を担当して、三年目に入ろうとしているが、この二年間、会長・副会長・強化部員及び選手、又お世話

になっていく道場と応援して下さい。県下の弓友の皆様は御礼を申し上げます。同時に強化練習に対しご家族の皆様にもご理解を戴き送り出してください。ことに感謝いたします。

さて昨年は北信越国体で三種別が本国体に進むことが出来ました。最近の北信越はレベルが高く成年男子は3チームが本国体に進み、本国体では全国から30チームが出場し、8チームが決勝に進むことが出来るが、近的には北信越の3チームが決勝に残っており、レベルの高さが伺える。逆に北信越突破は非常に難しいし成年女子・少年男女は2チームしか北信越を突破できない激戦区になっていくので、プレッシャーは半端ではない。一歩間違えれば北信越で全滅の可能性も大いにあります。すでに県の予選会は終了し第68回東京国体目指して強化練習に入っているが、今年から成年男女の選手兼任監督はスポーツ指導員の資格が必要になってくる。これから国体予選に参加する人には資格取得にも挑戦していただくようにもなるので大変である。

又昨年の反省を活かせるように遠的の練習方法も課題が残っているが、選手たちが頑張っている事に強化部員も励まされながら、今年も新潟で開催される北信越国体めざし、全種別突破目指して頑張りたい。いろいろな方にご

迷惑をおかけいたしますが、応援・ご協力宜しくお願いいたします。



ジュニア部長
神津 明男

平成二十四年度におきましては、ジュニア部の事業実施にあたりまして、会員の皆様のご支援を賜り、無事に終了することができました。心より御礼申し上げます。二十五年度におきましても、引き続きご支援いただけますようお願いいたします。

今年度も、中学生大会を、例年通りに実施いたします。中学校や、体協を始めとする地域での活動におきましては、指導上のご苦労等があることと思っておりますが、大会への積極的な参加を是非ともお願いいたします。又、大会参加や日頃の稽古を通して、将来、高校での部活動にもつながっていくようになるれば、後進の中高生の励みにもなるうかと思っております。

新たな事業として、中学生や高校生を対象にした手引き書の発行を検討したいと考えています。長野県内では、三千人弱の中高生が、日々の弓道稽古に励んでおります。そのような若い弓士達が、正しい弓道にこそ取り組めるようなハンドブックを配

布したいと思っております。射技や体配についてだけにとどまらず、弓道施設や弓具・服装の解説、審査や競技について、マナーやルール、安全管理の普及など、初心者にも活用できる、幅広い内容のものを検討していきたいと思っております。配布の時期や方法も含めて、継続的且つ発展的に発行ができるように、検討していきたいと思っております。

皆様からのご意見やご要望を、是非お聞かせいただけますようお願いいたします。

ジュニアを育成することだけに限らず、長野県弓道にも寄与できる活動を心がけていきたいと思っておりますので、ご指導ご支援をお願いいたします。



広報部長
杉田 博

広報部の目的は

①弓道ながの②HP③弓道誌の「ちれん発」という三つの媒体を通じて、長野県弓道連盟の活動を広く伝えていくことです。二十五年度もこの原則を踏まえ、どのようにしたら会員の皆様に情報を的確に伝えられるか、参加していただけるか、を考えていきたいと

思っています。
具体的には、『弓道なごの』に弓が
関係する各地の行事等の情報を伝える
ページを作ること。

又HPには「伝言板」のコーナーを
設けました。大会や審査会での忘れ
物、なくし物等の情報をいただけれ
ば随時掲載していきたいと思っていま
す。ただ個人情報管理の問題もありま
すので、ご意見をいただきながらより
良いものにしていきたいと思っていま
す。

「ちれん発」は一人で担当していま
すが、情報収集が大変ですので、会
員の皆様からの情報をお待ちしていま
す。

いづれにしろ「読んでもらえなけれ
ば」、「見てもらえなければ」意味が
ありませんので、ご意見ご希望等どし
どし部員宛に送っていただき、役に立
ち、かつ面白いものにしていきたいと
思っています。

審査における立射での 受審申請について

標題のこと、審査における立射受審
の申請にあたっては、以下の手続きに
より取り計らいたいと存じます。

支部長各位におかれましては、周知

の上よろしくお取り計らいの程お願い
申し上げます。

【審査における立射申請手続き】

立射で受審する際は、申込書の所定
の欄（受審者連絡欄）に立射で受審し
たい旨を朱書きし、立射初回受審時の
み診断書（またはその写し）を添付し、
県弓連会長の承認を得ることとする。
式段以下は主管支部地区副会長が、
代理者となる場合がある。

申し込み後、審査当日の間に諸事情
により立射の申請をする場合は県弓連
会長にあらかじめ連絡して（式段以下
は主管支部地区副会長）承認を得ると
ともに、当日受付でその旨を申告する
こととする。

〈留意事項〉

- ・立射での二回目以降の受審に関し
て、医療機関等の診断書または身障
者手帳の写し等の添付は不要です。
- ・従来より立射で申請している者は診
断書または身障者手帳の写し等の省
略を可とする。

本件の問い合わせ先

長野県弓道連盟

審査部長 押金孝

TEL・FAX

〇二六八一三六一三四二一

私と弓道

小諸支部 四段 大柄 富義

初めて百射会に弓友と出かけた。
懐古園の雰囲気が好きでその縁で気
分次第で道場に通っていたせい、か、
外道場で引くのは神宮以来十五年ぶ
りである。最近体調も良いし審査も
そろそろ考えなくてはいけないとの
思いで久しい大会の雰囲気は楽しめ
そうだった。三十射ほどは普段通り
の早気で羽分けほど、ところが突然
妻手が理解不能の離れをした。あれ、
と思うまま四本とんでもない処へ
散ってゆき、その後も弱い弓を借り
ても矢は防御ネットや矢道途中へ妻
手が勝手に乱れ離れる。暴れる肘の
制御が利かない。どうしたのか疲れ
かな？ 疑問のまま帰宅した。

しかしその後も常にビクする。巻藁
では一切でなく気持ちよく狙え素直
に離れるが、的前に立つと絶対に妻
手がビクって戻る。そうなると取懸
けがズレ詰合いは力み崩れて惨めな
矢飛び。人に迷惑を掛けるので早朝
暗いうちからの練習に切り替えた。
暁の天地は澄み緑は静爽やかだが、
的中の音なし。直る見込み無し。矢
は何本か壊れた。

書々を読み検索したが、ビクに関
しての原因治療法の記載は少なく
最終的に基本に帰れとなる。弓力と
碟も変えたり、とにかく誰の意見で
も気に留め考え直し行動してみる。
YouTube 映像でお気に入りの射を常
に観て理想をイメージし、まず胴造
りと打起しを注意されながら直し、
引分けは時間が掛かって未だに満足
はいかず、しかし残身は大きくなっ
たかな。今わかる事、会が小さく収
まる、引分けで妻手の力み、肩根の
開きと集中力の欠如など注意し出づ
らくなるが環境が違ったり、調子が
いいと突然現れ何射か続きどうにも
止まらない。考案試練一進一退あれ
から三年経った。あの頃とは弓道に
対する考えも射も変わったと思う。
褒められる射もある、満足する射も
ある。ビクも少しずつ減ってきた。
しかしまだまだ私はこの病と付き合
わなくてはいけないらしい。



ちいきき発

射会を楽しむ

飯伊支部 松澤英男

……… 団体戦の工夫 ……

地元(飯伊)のことになるが、身近な射会の団体戦の組み方について紹介してみたい。実は私が弓を始めて三十数年、ずっと団体戦はこういうものだと思っていたが、最近になって、ひょんなことから飯伊の独特の方法らしいことが分かった。

そもそもは、前飯伊支部長の村松康尾先生が発案者らしい。先生は双松館

二										三										優														
16	75	20	13	19	17	25	21	10	6	5	16	75	20	13	19	17	25	21	10	6	5	16	75	20	13	19	17	25	21	10	6	5		
6	7	3	6	7	4	5	3	5	4	7	8	5	4	4	4	5	10	6	5	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
3	2	1	3	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
1	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
中村	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤

八										七										六										五									
3	6	7	2	4	8	6	1	4	5	4	5	8	8	1	7	5	3	3	6	3	4	7	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1					
0	2	0	1	0	2	2	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1					
1	1	1	0	0	1	2	0	1	1	1	0	1	2	0	1	1	0	1	2	0	1	1	0	1	2	0	1	1	0	1	1	0	1	1					
0	1	1	2	0	1	2	0	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1					
1	1	2	2	1	1	0	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1					
伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤				

道場の道場主で、例会の団体戦の入賞がいつも限られたチームで争われることから、だれにも勝つチャンスがあつて、楽しめるものにしたというところから考え出されたようだ。

飯伊では特別な大会を除いて、支部の例会をはじめ、各道場、町村単位の射会はたいいて午前中に個人戦、午後には団体戦になる。

個人戦は立射で二十射か、坐射なら十射。団体戦の射数は個人戦が終わつたところで、時間等勘案しながら相談で決めるが、個人戦が十射だと団体戦は二十射になることが多い。

個人戦は自分との勝負だから、静寂な中にも真剣な空気が漂うが、団体戦になると、多少余興的な趣があり、軽

口が出たり、雰囲気が上がったり、道場が盛り上がる。

盛り上がるのは、各チーム(三人組)の力が均一化されて、どのチームが勝つのか、終わって見ないと分からないからだ。個人戦でまったく振るわなかった人が、急に中りだったり、一立ちごとに順位が変わったりする。他

チーム的中数に関心が集まるから、一射一射に注目が集まることになる。

団体の組み方は、その日の個人戦の成績によって籤で決める。

先ず当日の参加者によって組数が決まる。3で割り切れないときは、二人組(多くて二組)ができる。

組数が決まると、先ず当日の成績上位者から組数分の大将(後)を配置する。上位者から順に張り付けたり、籤で決めたりする。つぎに中将(中)を

やはり成績順に籤を引いて各組に配当する。残りは少将(前)になるが、少将を配当されなかった組は二人組になる。これをなぜかケロ組と言う。ケロ

の意味はわからない。ケロ組には少将の平均的中数を与えられるので、有利にも不利にもならない。少将的中数が順位に微妙に影響してくるので、少将には注目が集まる。小数点以下の数字で順位が逆転することがある。

わたしの感じで言うと、二十射で大将が十五中、中将が十中、少将が五中で羽分け、これががんばる目安だろうか。

雰囲気はほぐれ場内が沸くこと必定である。そして優勝チームが納射して射会をしめくくる。三位まで賞品が用意されるが、二位は矢場の清掃、三位は的張りの役がある。写真は飯伊支部の二月の例会の様子、参加者二十四。



御奉射祭

安曇支部 丸山 萬佐巳

安曇野市の穂高神社では、神主が大
きな的に向かって矢を放ち、参拝者が
その矢を奪い合い、矢が取れなかった
人々が的を粉々に割って、その破片を
持ち帰るといった勇ましい祭事が行わ
れています。

毎年三月十七日の御奉射祭です。全
国の大きな社で平安時代より行われ
てきたと伝えられています。邪気を払
い、五穀豊穡を願って行われます。

神殿での儀式に次いで弓矢の神事
に移ります。まず「神の矢」を丑寅の
方角(東北の方向)に、ついで「殿の
矢」を辰巳の方角(東南の方向)に射
ます。次に神殿から十二・五メートル



の距離にある神楽殿の
軒先に掲げた直径五尺
二寸(一・六メートル)
の的に、桑の棒を弓曲
にして麻紐を弦にした
弓を用い、桑棒で作っ
た十二本の鐏矢を神主
が交代交代に放ちます。
大きい的の裏には甲・
乙・ム(甲乙なしと読む)
の三文字で「罘」の組
文字を記して貼ってあ
ります。

神主の放つ十二本の矢の的中により
天候や作物の豊凶を占うものとされて
います。

放たれて的中した矢は参拝に集
まった人達によって、というよりも、
飛んでいる矢を的に届くまでにつか
み取ろうとする人達による奪い合いが
行われて、矢が取れなかった人達は大
的を粉々にし、その破片を持ち帰ると
いった勇ましさと、激しさが絶頂で
す。その持ち帰った弓、矢、破片は、
魔除けとして神棚に供えたり、風呂の
焚き付けにし、その風呂に入ると風邪
をひかないという御利益にあずかれる
といった風習があったようです。矢は
取ったら逃げるといふくらい、一本の



矢を三人が同時にでもつかんだらもう
大変。結末はご想像通りといったこ
ろです。

この祭りには、悪霊の退散の祈りや、
天候を占ったり、桑を使うなどは、蚕
が当時の産業の中心であったことを窺
い知ることができます。

また同日境内の弓道場で行われる穂
高神社奉納御奉射祭県下弓道大会は今
年も三月十七日に第七十三回大会が行
われ、本年度はちょうど日曜日と重な
り、多勢の弓士の皆様の参加により盛
大に催すことができたこと、宮司をはじ
め氏子総代の方々が、この伝統のある
祭事の無事終了を心より喜んでいて姿
が印象的でした。

弓道合宿予約随時受付中!

野辺山洗心弓道場

- 近的道場 18人立1ヶ所 (床暖房完備)
- 12人立2ヶ所
- 遠的道場 1ヶ所

帝産ロッチ

〒384-1305
 長野県南佐久郡南牧村野辺山1003
 HP: <http://www.teisanlodge.com/>
 ご予約・お問い合わせは 0267-98-2861

弓仲間紹介

志峰館弓友会 上伊那支部 鈴木 清重

駒ヶ根市赤穂の故塩澤正三先生(教士七段)が昭和四十九年に御自宅の庭に、三人立の私設弓道場「志峰館」を建てられ、近隣の弓道愛好者に道場を開放し「志峰館弓友会」が発足、今年で三十九年目となります。

現在会員は二代目塩澤秀三館主の下、今井勉教士七段・外蘭公毅教士七段・仁科求教士六段・北村彌昌教士六段・南島健錬士六段の先生方のほか三十三歳代から八十歳代の弓士十八名です。

故塩澤先生は、古くから岡谷市の誠道館館主故濱與祐先生と深い親交があり、お互いの技術向上と弓道発展の為、両館の「親善対抗射会」を行い、平成二十年まで三十三回開催してきました。

当会の射会は、新年初射会、百射会、光前寺奉納射会、納射会と月例会



板割りをした後、年間計画の確認等の総会を行っています。月例会は、毎月第二木曜日の夜七時から一手四回の坐射で行います。百射会は、一月下旬に会員の先生方の指導・同僚のアドバイスを受けながら、和気あいあいのうちに競射を行い射技向上に努めています。当会の特色は、酒を酌み交わしながらの数多い親睦会でしょうか。新年会、焼肉会、忘年会に、月例会、注連縄作り・大掃除の後のワンコイン懇親会などを道場で行っています。

当会の最大の行事は、駒ヶ根高原の名利光前寺例大祭奉納弓道大会で境内の五重塔前の野天矢盛大に開催しています。初射会は、月例会を兼ね金的・板割りをした後、年間計画の確認等の総会を行っています。月例会は、毎月第二木曜日の夜七時から一手四回の坐射で行います。百射会は、一月下旬に会員の先生方の指導・同僚のアドバイスを受けながら、和気あいあいのうちに競射を行い射技向上に努めています。当会の特色は、酒を酌み交わしながらの数多い親睦会でしょうか。新年会、焼肉会、忘年会に、月例会、注連縄作り・大掃除の後のワンコイン懇親会などを道場で行っています。私たちの会は、弓にかこつけて飲む、そんな楽しい集まりです。

大会結果

第21回 中野冬季百射会

○平成25年2月10日(日)

中野市菅弓道場 参加者：47名

結果100射

- 1位 小田切祐典(東京第2)
- 2位 大島克巳(新潟魚沼)
- 3位 手塚信幸(上田)
- 4位 江田浩二(飯田)
- 5位 栗林正直(小諸)

飯島町弓友会第31回百射会

○2月11日(月・祝)

飯島町弓道場 参加者：23名

結果

- 1位 亀岡英司(南佐久支部) 79中
- 2位 柴翔太(諏訪支部) 72中
- 3位 生田憲克(諏訪支部) 71中
- 4位 湯澤幸司(上伊那支部) 68中
- 5位 小松徹朗(上伊那支部) 62中

表彰

○平成24年度

日本武道協議会 武道功労者表彰

宮澤廣(長鉄支部)



(公財)全日本弓道連盟提供

つづいて

教育に携わる関係者を集めて、安曇野市での講演に訪れた、信州大学で教育思想史や教育文化史を研究された坂本教授が、講演会場が近いのと、教授の受講生の熱心な働きかけもあって、弓道教室を見学し、道場に立ち寄られました。緊張しながらも、いつも通りの教室でしたが、壁の方ばかり向いていた教授の感想として述べられたお話は、道場の正面に掲げている「禮記・射義」の内容の説明でした。儒教から始まり、現在の道徳に至るまで。

びっくりしました。「射者仁道」「道」を極める話、特に「仁」についてはタイムリー的にいじめの問題や教師による体罰の話題にふれられ、最後はこの「禮記」の精神の元、修養されている皆様はすばらしい。などと結ばれ、若干額から汗が出る思いがしましたが。

我に返り、日常道場でただ黙々と練習しているだけでなく、また教室でも「禮記・射義」「射法訓」の精神もあわせて指導していくことが大切なことだとさっそく教本を開きました。

安曇支部 丸山 萬佐巳